

I 令和4年度 学校経営計画

1 校訓（目指す児童生徒像）

- | | |
|-------|--------------------------------|
| 明るく | 基本的な生活習慣の確立と、健康な心と体でよく遊びよく学ぶ子供 |
| 仲よく | 人との関わりを楽しむ、思いやりのある心豊かな子供 |
| たくましく | 自らの障害理解と、積極的な社会参加を目指す子供 |

2 教育目標

児童生徒一人一人の特性や課題に応じて、小学部から高等部までの一貫したつながりのある教育を実践することにより「生きる力」を育み、自立して社会参加を目指す健康で心豊かな子供の育成に努める。

3 教育方針

- ① 児童生徒一人一人の教育的ニーズに対応し、個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づいて、個々の可能性を最大限に伸ばす適切な教育活動を推進する。
- ② うるおいのある教育環境の整備と充実を図り、自ら主体的に活動することや人との関わりを楽しむことのできる豊かな人間性を育成する。
- ③ 医療、福祉、労働等の関係機関と連携・協力を強化し、地域における特別支援教育のセンターとして相談・支援機能の向上に努める。

4 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 知的障害教育部門、肢体不自由教育部門併置の特別支援学校として、学習指導要領を踏まえた教育課程を編成し、それぞれの障害特性に対応した質の高い特別支援教育を実践している。
- ② 児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育を推進するため、外部専門家を招聘した授業力の向上及び医療、福祉、労働等の関係機関と連携した特別支援教育に係る教師の専門性向上を図っている。
- ③ 小学部から高等部までのつながりのあるキャリア教育を計画的・段階的に推進するとともに、産業技術コースの設置を活かした専門教育と進路指導を充実させている。
- ④ 地域との関係機関や外部専門家との連携・協力により、教育相談及びコーディネーター機能の充実を図り、地域の特別支援教育のセンター的機能を積極的に進めている。
- ⑤ インクルーシブ教育システムの構築に向けて、交流及び共同学習や地域における教育活動を積極的に推進し、適切な障害理解と合理的配慮に努めている。
- ⑥ 児童生徒の実態や障害特性、興味関心を踏まえた教材・教具を開発し日々の実践に活かすとともに、積極的にICT機器の活用を推進している。
- ⑦ ICT機器を活用した効果的な教育活動及び日々の授業実践を積極的に情報発信する必要がある。

(2) 児童生徒に関する中・長期的な目標

- ① 基本的な生活習慣を確立し、健康に留意し、自らの体力の維持・増進に取り組む児童生徒
- ② コミュニケーション能力を高め、集団生活や社会適応力の向上を図り、積極的に人間関係を築く児童生徒
- ③ 社会自立、職業自立を目指して、主体的に知識・技能・態度の習得に取り組む児童生徒
- ④ 様々な体験活動を通して興味・関心の幅を広げ、地域と関わりながら余暇の充実に取り組む児童生徒

(3) 教職員、学校組織の望ましい在り方

- ① 児童生徒の自立や社会参加に向けて、適切な指導・支援に努める教職員
- ② 児童生徒の学力向上と社会性の育成を目指し、ICT機器を活用した質の高い教育を実践する教職員
- ③ 一人一人が自らの責務と役割を認識し、チームとして協力して業務遂行に努める教職員
- ④ 地域との関係機関と連携しながら、地域住民や保護者から信頼される学校組織
- ⑤ コロナウイルス感染症との共生を意識し、安全安心な教育活動を実践する学校組織

5 今年度の重点目標

- ① ICT機器を活用できる専門性向上と情報発信
- ② 教科指導及び実践力の向上
- ③ コロナとの共生を意識した安全安心な学校運営
- ④ 業務改善（業務の効率化）